

## 桜井・渋谷が低価格住宅

# 吉野杉使用、999万円から

## 県林業活性化へ発売

建設・不動産業の渋谷（桜井市外山）は、吉野杉を床材などに使用した低価格住宅「CASA COCO（カーサココ）」を開発し、999万円から発売を開始した。社社によると県産材を使いながら価格を1千万円以下に抑えた住宅商品は県内メーカーで初という。

20〜30代の家族層に県産材を用いた戸建住宅を供給し、低迷する県内林業の活性化につなげようと、渋谷守浩社長が考案。年間50棟の販売を目指す。

カーサココの基本プランは木造2階建てで、延べ床面積約80平方メートル。外観は白を基調としたシンプルな箱型デザイン。こだわりの吉野杉の無垢（むく）材は1、2階全フロアの床と階段、玄関の扉などにあしらっている。



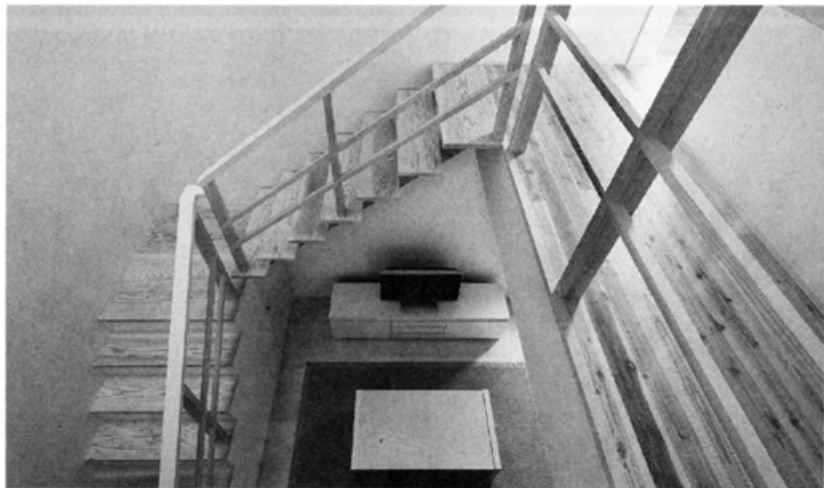
カーサココのモデルハウス外観

同社は桜井木材協同組合加盟社から仕入れる。

同社の渋谷社長は「奈良発のローコストの次世代型住宅。吉野材の心地よい生活空間を味わってほしい」と話している。

桜井市慈恩寺のモデルハウスで見学を受け付けている。

問い合わせは渋谷、フリーダイヤル（0120）377733。



吉野杉を採用したローコスト住宅の階段など内部  
|| 桜井市慈恩寺